

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	河川維持事業			
予算科目	8 款 3 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	土木管理課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	木曾 信之	担当責任者:	鍋田 豊樹

実施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】 設定なし
事業の対象	市が管理する河川沿線の住民

事業の目的	沿線住民が安心、安全、快適な環境を維持できるように、自然を生かしつつ且つ防災機能も備えた河川として、その機能を健全に保つ。
事業の内容	護岸の維持補修、狭隘河川の改修、河川堆積物の撤去等
改善策の 具体的 取り組み (当初)	現地調査を行い、危険性・緊急性の高い箇所から事業を実施する。
改善策の 具体的 取り組み	なし。

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	9,139	5,200	1,468	4,655
	人件費	813	795	238	795
	合計	0	5,995	1,706	5,450
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.03	0.10
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	813	795	238	795
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,952	5,995	1,706	5,450

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
作業員賃金	510	880	100	100	100	100	
委託費	191	236	1,150	1,150	1,150	1,150	

成果指標				
成果指標	修繕箇所÷要望箇所＝実施率			
指標設定の考え方	要望箇所に対する改修の割合を上げることにより、沿線住民が安全且つ快適な生活を送ることができる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	災害等を未然に防ぐため、現地調査等により施工の必要性を検証し実施する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	生活環境の向上のためには、地域住民の協力が必要不可欠である。県管理河川では、地元愛リバー制度の活用も一つの手段である。市管理河川においては土羽法面の草刈り、投棄物の撤去、堆積土砂の撤去、護岸維持工事など様々な要望には、緊急度から優先順位を付けて対応をする必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題